

令和8年1月9日

## 春日部市 × 埼玉県立大学 学生とともに考える「子宮頸がん検診の受診勧奨」 ～ 受診率向上を目指して ～

市では、子宮頸がん検診の受診率向上を目的として、埼玉県立大学と連携し、学生と共に、若い世代に届く効果的な受診勧奨の方法について検討します。

子宮頸がんは、20代の若い世代でも増加傾向にあるがんであり、定期的な検診により、がんになる前の段階で発見することも可能です。しかしながら、受診率は、令和4年度が6.8パーセント、令和5年度が6.7パーセント、令和6年度が7.1パーセントと、ほぼ横ばいで推移しており、特に若年層の受診率は低い状況です。

この取り組みは、県立大学の講義において、市職員が子宮頸がんや検診、現在の受診勧奨の内容について説明し、どのような情報発信や伝え方が行動変容につながるのか、意見交換しながら、検討していくもので、実際に若者世代である大学生の視点を取り入れ、市の受診勧奨に生かしていくものです。

### ■ 講義の日時

(1) 1月15日(木) 午後2時40分～午後4時10分(4限目)

- ・子宮頸がんや検診などについて説明
- ・個人ワーク

(2) 1月22日(木) 午後2時40分～午後4時10分(4限目)

- ・グループワーク
- ・グループワークの発表



### ■ 担当教授および参加学生

(1) 担当教授

北畠 義典(きたばたけ よしのり)

(2) 参加学生

保健医療福祉学部 健康開発学科 健康行動科学専攻 3年生(35人)

※市と埼玉県立大学は、包括的連携協定を締結しています

### 問い合わせ先

健康保険部 健康課 健康づくり担当

担当：前田・大橋 電話：048-736-6778